



AMDA本部で行われた出発式

被災状況を視察

今年二月に起きた中国雲南省大地震の被災者救援活動を続けるAMDA（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）は、現地の被災状況を視察するスタディーツアーを企画。参加するAMDA高校生会のメンバー七人

AMDA高校生会の7人

あす中国・雲南省へ

岡山

人の出発式が三十一日、AMDA本部で行われた。一行は二日に出発する。AMDAは、地震直後に中国雲南省で医療救援活動に着手。現在も被害が最も大きかった麗江で、地震で倒壊した小学校を再建するプロジェクトなどを行って

には、AMDA高校生会岡山県内の高校生七人のほか大学生、社会人ら総勢十人が参加。寄せられた文房具と募金の目録、それにAMDA本部がある岡山市檜津の地元農協婦人部らが作った文房具袋を麗江拉市に送った。AMDAは、現地の被災状況を視察するスタディーツアーを企画。参加するAMDA高校生会のメンバー七人

郷の海東完心小学校に届けられる。現地ではスポーツやキャンプファイアーなどの交流活動に力を入れる。AMDAは、地震直後に中国雲南省で医療救援活動に着手。現在も被害が最も大きかった麗江で、地震で倒壊した小学校を再建するプロジェクトなどを行って

を学んできた」「交流を深め、互いに楽しい思い出にしたい」などと、一人ひとりが抱負を語った。AMDAの近藤祐次事務局長は「応援するという気持ちだけではなく、（阪神大震災でうけた援助の）恩返しのために行ってほしい。大いに交流を深め、活動を広げられるよう頑張ってください」とエールを送った。スタディーツアーの一行は二日前に関西空港から中国に出発。九日に帰国する予定。